

章	1	健康でおもいやりのあるまち
大項目	02	地域とともに育む福祉社会づくり
施策	03	社会参加と生きがいづくり

目的

高齢者や障害者が自ら進んで地域社会に参加できる環境を整備するとともに、自立的な就労・就業の機会を確保します。

対象・手段

高齢者の地域参加と生きがいづくりにつながる各種活動を支援します。高齢者の就業を促進するため、新宿区社会福祉協議会が実施する無料職業紹介所(新宿わくワーク)に対し、費用を助成します。また、高齢者の社会参加の仕組みづくりについて、高齢者社会参加システム協議会で検討します。

障害者就労福祉センターの運営基盤を強化し、障害者就労支援を多角的に実施できる体制づくりに向け準備します。

施策の方向

高齢者については、社会参加と生きがいづくりを推進するとともに、価値観と行動様式が多様化したこれからの高齢者の社会参加の新たな仕組みづくりについて、検討していきます。

障害者については、就労支援の充実を行います。

基本計画(平成10～19年度)の目標達成状況

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
高齢者で生きがいをもって生活している者の割合(%)	(平成13年度) 90.8%	(平成19年度) -	(平成19年度) 95.3%	生きがいを持つ高齢者は、ここ数年着実に増加しています。
65歳以上で積極的に外出する人の割合(%)	(平成17年度) 55.6%	(平成19年度) -	(平成19年度) 55.6%	ほぼ毎日外出する高齢者の数は、横這いで推移しています。

指標名の定義： 高齢者で生きがいをもって生活している者の割合
65歳以上で積極的に外出する人の割合(%)

成果指標

指標名		定義		目標水準		
積極的に外出する高齢者の増加		65歳以上で積極的に外出する人の割合(高齢者実態調査)		(平成19年度) 75.70%	年度にこの水準達成	
生きがいをもって生活している高齢者の増加		65歳以上で生きがいをもって生活している人の割合(高齢者実態調査)		(平成19年度) 62.50%	年度にこの水準達成	
社会福祉協議会の高年齢者職業紹介所による就職者数		採用、決定者の実数		(平成19年度) 184人	年度にこの水準達成	
施策の達成状況						
	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考	
施策成果指標	目標値1	%	75.70		75.70	平成18年度の実績1、2については高齢者実態調査未実施のため、数値未記入。
	実績1	%	55.60		55.60	
	目標達成率1 = /	%	73.45		73.45	
	目標値2	%	62.50		62.50	
	実績2	%	86.30		95.30	
	目標達成率2 = /	%	138.08		152.48	
	目標値3	人	184.00	184.00	184.00	
	実績3	人	226.00	281.00	191.00	
	目標達成率3 = /	%	122.83	152.72	103.80	

主な取組み

高齢者の社会参加	いきいき福祉大作戦の実施(高齢者マイスター制度、いきいきパスポートなど)
高齢者就業支援	社会参加システム協議会による新しい社会参加の仕組みの検討
障害者の就労支援	新宿区社会福祉協議会設置の無料職業紹介所への助成 薬王寺保育園跡における就労支援施設の準備室の開設 運営

課題

地域で活動する高齢者が今後も増えていくことから、高齢者のいきがいを高めるとともに、地域課題の解決にその力を活かすことが求められていることから、高齢者の社会参加システムの構築が強く求められています。

高齢者の就業支援については、相談から就職斡旋までの一貫した支援に加え、就職支援セミナーやガイダンスなど支援の仕組みとして安定的に運営されています。この間、求人開拓を通じて地域の企業とのパイプもつくられ、支援のノウハウが蓄積されていることから、これらのパイプやノウハウ等を幅広い就労支援の中で活用することが求められます。

評価

総合評価	
<p>総合評価をBとした理由は、積極的に外出する方の比率について目標を達成することはできませんでしたが、ほかの2つについては目標を上回ることができました。しかしながら、個々の取り組み、事業の中には、実績が低かったり、想定した利用者層に結びつかないものもあったためです。</p> <p>サービスの負担と担い手</p> <p>いきがい活動、社会参加活動、就労は個々人が主体的に行うものですが、地域で活動する高齢者が増加傾向にあること、高齢者がいきがいをもち活動することで、高齢者全体の健康維持・介護予防にも資すること、障害者の自立支援の大きな柱であること、地域課題の解決に結びつくこと等を考慮すると、参加を支援するしくみづくりについては公共が負担することが適当です。</p> <p>適切な目標設定</p> <p>高齢者の社会参加づくり、いきがいづくりが活発になることで、外出する機会等が増えることから、適切なものです。</p> <p>効果的・効率的な視点</p> <p>事業の推進にあたっては、地域で活動する住民・団体、事業者等との協働・連携を基本としています。</p> <p>目的の達成度</p> <p>高齢者社会参加システム協議会の検討結果等を踏まえ、高齢者の社会参加を支援するしくみの構築に取り組み、「生涯現役塾」を初めとする事業を開始することができました。またこれまでの就労支援策を踏まえ、障害者、高齢者、若年非就業者などに対する総合的な就労支援策について取り組むこととなりました。</p>	B

今後の取組み・改革の方針

高齢者一人ひとりの希望に沿った形で社会参加を実現するため、能力開発や体験講座の開催、地域活動に関する情報提供・交流の場の整備や支援策について、検討していく必要があります。

就業支援については、これまで蓄積した支援のノウハウや地域企業等とのパイプを活かし、高齢者、障害者、若年非就業者へ総合的な就労支援を展開する「(仮称)新宿仕事センターによる就労支援」の中で推進することとし、ハローワークとの連携や役割分担のもとで地域に根ざしたきめ細かな就労支援を展開します。

なおこの施策は、「 - 2 - コミュニティ活動の充実と担い手の育成」「 - 2 - 高齢者の社会参加、自己実現の機会の提供」「 - 2 - 障害のある人の社会参加・就労支援」「 - 2 - 新たな就労支援のしくみづくり」に引き継いで取り組んでいきます。

施策を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
高齢者が輝くまちづくり	B	30		
高齢者就業支援事業への助成	B	32		
障害者就労支援の充実	A	34		